日高川入相花王　　渡し場の段

病弱な朱雀帝は弟の桜木親王に位を譲ろうとするが、左大臣藤原忠文は自分が位につこうとして親王を亡き者にしようと企む。桜木親王はかねてより小野大臣の娘おだ巻姫と恋仲であった。親王がおだ巻姫の館にいることを知った忠文は軍勢で館を取り囲むが、藤原純友は機転をきかせて、桜木親王を館の外に逃がす。桜木親王は山伏安珍と名を変えて熊野へと落ちていく。おだ巻姫も安珍の後を追う。そんな折り、以前より親王に激しい恋心を抱いていた清姫は、自分の許嫁と思いこみ嫉妬の一念で安珍の後を追う。

＝上演部分＝

日高川にたどり着いた清姫は、渡し守に舟を出すよう頼むが断られる。何としてでも安珍に会いたい清姫は日高川にとびこむ。その姿は鬼か蛇のように変身し一念で泳ぎ渡る。

日高川町公演チラシより引用）

鯖江人形浄瑠璃近松座